市民の移動手段、生活交通を確保するために

本市の公共交通は、デマンドタクシー、路線バス、JR磐越東線が運行しており、市民の日常生活に欠かせない移動手段となっています。

しかしながら、少子高齢化、人口減少が進行する中で、公共交通は、運転手の高齢化や人手不足が深刻化し、今後、サービスの維持が困難となる可能性があります。

また、身体機能の低下や自動車運転免許の自主返納等により、自身で移動することが困難となる市民の移動手段や生活交通の確保は急務です。

課題解決に向けて

目指すは「自家用車がなくとも住み暮らし続けることができるまちづくり」

公共交通の課題解決のため、新たな交通手段である「自動運転バス」を導入し、市民の移動手段や生活交通を拡充することで、市民の外出機会を創出するとともに、地域経済の活性化を図り、「自家用車がなくとも住み暮らし続けることのできるまちづくり」を目指します。